

## 船舶インシデント調査報告書

令和3年1月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	令和2年5月20日 14時25分ごろ
発生場所	神奈川県三浦市 <sup>つるぎ</sup> 劔埼東方沖 劔埼灯台から真方位102° 2.2海里付近 （概位 北緯35° 08.0′ 東経139° 43.3′）
インシデントの概要	プレジャーボート <sup>スカイウエーブ</sup> SKAY WAVEは、航行中、船外機が始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年6月19日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート SKAY WAVE、5トン未満（長さ5.53m） 235-28166 神奈川、個人所有 ガソリン機関、船外機、4サイクル、出力66.2kW、回転数毎分 5,800、4気筒、ボア75mm、使用燃料ガソリン
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.8m
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、釣りを終えて帰航する際、船外機の回転数が上がらず約5ノットの対地速力で航行中、船外機が停止し、再始動することができなくなった。 本船は、船長が海上保安庁に通報し、来援した巡視艇に救助された。 本船は、本インシデント後、機関整備業者により、船外機及び燃料ホースの点検が行われ、燃料ホースの中間部分にあるプライマリーポンプに経年劣化で亀裂が生じ、空気が混入して船外機に燃料が連続して供給されなくなっていたことが判明し、プライマリーポンプが新替えされた。 船長は、プライマリーポンプの亀裂に気付いていなかった。
分析	本船は、航行中、燃料ホースの中間部分にあるプライマリーポンプに経年劣化で亀裂が生じ、空気が混入して船外機に燃料油の供給ができなくなったことから、船外機が停止し、運航不能となったものと推定される。
原因	本インシデントは、本船が航行中、燃料ホースの中間部分にあるプライマリーポンプに亀裂が生じ、空気が混入して船外機に燃料油の供給ができなくなったため、船外機が停止したことにより発生したもの

	と推定される。
<b>再発防止策</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 定期的に点検を行い、使用機材の経年劣化の状態を把握して必要に応じて交換等を行うこと。(特にゴム製品は注意)</li><li>・ 船外機の回転数が上がらず、停止するようなトラブルの際、燃料油タンクからの燃料油系統を点検すること。</li></ul>